

杭工事施工結果報告書 (建築基準法第 12 条第 5 項、横浜市施行細則第 17 条の 3)

提出日	年 月 日				
建築主	住所名				
工事監理者	住所名	() 級建築士事務所(大臣・知事) 登録 第 号 (電話)			
	事務所名	() 級建築士 (大臣・知事) 登録 第 号			
工事施工者	資 格 名	建設業の許可(大臣・知事) 登録 第 号 (電話)			
	資 社 名	代表者名			
工事概要	工事名称				
	建築確認番号	年 月 日 第 号 当初確認番号 ()			
	建築場所				
	構造	造	規 模	地上 /地下 階、延面積	m ²
杭工事概要	杭種				
	工法				
	材質・強度				
	杭 径		軸径部	拡底部	拡頭部
		設計径			
		施工径			
	支持層深さ				
施工深さ					
杭種	内 容				チェック結果 (※2)
全般 (※1)	1. 設計図書及び施工者が作成した施工計画の内容の把握と整合性の確認				適・不
	2. 杭の支持層への到達等の技術的判断方法、施工記録の確認方法、施工記録が取得できない場合の代替手法等を定めた施工計画の確認				適・不
	3. 地盤条件や施工上の留意事項、施工計画を把握したうえで工事監理方針を決定				適・不
場所打ち杭	1. 重機作業範囲の地盤の安全性 (敷鉄板、砕石等)				適・不
	2. コンクリートの配合、単位セメント量、強度等				適・不
	3. 鉄筋材料について設計図書と照合 (ミルシート等による JIS 規格品等)				適・不
	4. 杭径、主筋の本数及び、帯筋との結合状況 ^{※3}				適・不
	5. スペーサー及び鉄筋かごの組み立て状態と重ね継ぎ手長さ				適・不
	6. 掘削中の孔壁の保持状況、泥水 (安定液) の管理				適・不
	7. 掘削の鉛直精度				適・不
	8. 拡底杭の場合、杭先端の拡底形状 (確認方法)				適・不
	9. 支持地盤の確認 (確認方法)				適・不
	10. 支持地盤への根入れ長さ及び杭長 ^{※3} (確認方法)				適・不
	11. スライムの除去 (除去方法)				適・不
	12. コンクリートのスランプ、空気量、塩化物量、打ち込み量及び供試体の採取方法等				適・不
	13. コンクリート打設状況 (ブランジャー使用、コンクリート中のトレミー管の位置、鉄筋かごの共上がり等)				適・不
	14. 杭頭部の余盛り高さ				適・不
	15. 杭頭余盛り部のはつり取りの状況 (時期、杭本体への影響、杭頭高さ等)				適・不
	16. 杭心ずれ状況 (基礎梁の断面変更の有無等 ^{※4})				適・不

	内 容	チェック結果 (※2)	
埋 込 み 杭	1. 重機作業範囲の地盤の安全性（敷鉄板、砕石等）	適・不	
	2. 杭工法、杭材種、杭径、杭長及び杭体の状態※3	適・不	
	3. 掘削深さ	適・不	
	4. 支持地盤への根入れ長さ及び杭長※3（確認方法）	適・不	
	5. 支持地盤の確認（確認方法）	適・不	
	6. 安定液、根固め液、及び杭周固定液の配合及び注入量等	適・不	
	7. 根固め液、及び杭周固定液の強度	適・不	
	8. 杭の継手	<input type="checkbox"/> 溶接継手：溶接工資格、溶接面状態、パス数、溶接後のチェック等	適・不
		<input type="checkbox"/> 無溶接継手：耐力低減の確認、施工の状況	適・不
	9. 杭の鉛直精度	適・不	
	10. 杭頭処理、補強及び杭頭定着方法（杭頭処理方法）	適・不	
11. 杭心ずれ状況（基礎梁の断面変更の有無等※4）	適・不		
打 込 み 杭	1. 重機作業範囲の地盤の安全性（敷鉄板、砕石等）	適・不	
	2. 施工時外力に対する杭体の安全性	適・不	
	3. 杭工法、杭材種、杭径、杭長及び杭体の状態※3	適・不	
	4. 支持力の確認（ハンマー重量、落下高、貫入量等）	適・不	
	5. 杭の継手	<input type="checkbox"/> 溶接継手：溶接工資格、溶接面状態、パス数、溶接後のチェック等	適・不
		<input type="checkbox"/> 無溶接継手：耐力低減の確認、施工の状況	適・不
	6. 杭の鉛直精度	適・不	
	7. 杭頭処理、補強及び杭頭定着方法（杭頭処理方法）	適・不	
8. 杭心ずれ状況（基礎梁の断面変更の有無等※4）	適・不		
監 理 の 実 施 方 法 (※1)	1. 試験ぐい※5	<input type="checkbox"/> 工事監理者による立会い確認※6	適・不
		<input type="checkbox"/> 元請の工事施工者による立会いを確認※6	適・不
	2. 本ぐい (全ての杭について、いずれかの方法により確認する必要があります。)	<input type="checkbox"/> 工事監理者による立会い確認※6	適・不
		<input type="checkbox"/> 元請の工事施工者による立会いを確認※6	適・不
	<input type="checkbox"/> 工事施工者が作成した自主検査記録、施工記録、工事写真等の書類確認	適・不	

※1 工事監理者による実施事項

※2 各項目を監理者がチェックし、適合は適に○印 指示があった場合は不に○印を記入し、内容を下の指示記録に記入してください。

※3 杭径、杭長の変更がある場合は資料を添付して下さい。

※4 杭心ずれ、及び基礎梁断面変更の場合、資料を添付して下さい。なお基礎梁断面変更の場合、変更確認申請（規則第3条の2に該当する場合は軽微変更届）が必要になります。

※5 試験ぐいについては、原則、工事監理者による立会い確認が必要です。

※6 別途、全ての杭について、施工記録等の書類確認が必要です。

項目番号	指 示 内 容

設計図書・施工計画の内容について設計者・工事施工者等に確認した事項

--

杭工事に対する考察

--

(注意事項) この報告書を提出する時に、下記の資料を提示して頂く場合があります。

基礎ぐい工事に係る施工計画及び工事監理の状況記録、ミルシート等杭材料関係資料、コンクリート及び根固め液等の配合、圧縮強度試験結果等資料、地盤調査結果資料、その他杭施工にかかわる施工記録写真を含めた施工関係資料